

豊洲への築地市場移転計画の中止を求める意見書

東京都は、築地市場を江東区豊洲の東京ガス工場跡地へ移転する計画を推し進めようとしている。豊洲へ市場を移転させることには、多くの市場関係者、専門家、消費者団体、都民から反対の声が上げられ、食の安全の問題として疑問の声が広がっている。

何よりも重大な問題は、移転予定地の東京ガス豊洲工場跡地の土壌や地下水が、ベンゼン、シアン、ヒ素、六価クロム、鉛など、環境基準を大きく超える有害物質で汚染されていることにある。

先に発表された東京都の専門家会議の詳細結果は、表層土壌から環境基準の43,000倍ものベンゼン(発がん性物質)、本来検出されてはならない猛毒のシアン化合物が基準の860倍も検出され、地下水からは最高濃度で環境基準の10,000倍のベンゼン、130倍のシアンが検出されるという衝撃的なものであった。

さらに、地下水の汚染は広範囲に及び、環境基準を上回った区域が市場計画地域全体のベンゼンで14%、シアン化合物で23%にも達している。この調査結果から見ても、豊洲では都民の食の安全を守るべき市場の移転地としてふさわしくないことは明らかである。

毎日の食卓の安全・安心は、都民生活の基本であり、食の安全を最優先することが自治体の責任である。土壌と地下水の汚染が深刻な土地へ、水産物や青果などの生鮮食料品を扱う市場を移転することは、食品の汚染を起し、食の安全を脅かすことになる。

また、東京都が計画している土壌汚染対策には、1,000億円を越える費用がかかるうえ、地下水が汚染されている以上、表層土壌の再汚染が避けられないことなど食の安全が確保される保障はどこにもない。

よって、町田市議会は、東京都に対し、豊洲への築地市場移転計画の中止を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。